

<ダンスから学んだ事> Episodo 1.

社交ダンスを習い始めた頃、プロのパフォーマンを見る時
自然と目がいくのは、高度で派手なパフォーマンス。
曲調がゆくりで「簡単そうに」同じ事の繰り返しかり
しているように見えるワルツなどは、お洒落好きでエ
レガント。自然と目もいかない。

ところが、レッスンを続け進んでいくうちに Basic の
難しさを知る事となる。

簡単に見える動作ほど「ごまかしが」「かた」大変な
事を痛感。そして、これが「できなければ」先には
進めなかった。

<ダンスから学んだ事> Episodo 2

先の通っていた教室の1周年パーティで、世界チャンピオンが
アンコールとして、ルンバの Basic を踊ってくれた。

私たちがいつも使っている曲、そしてルンバ。

それなのに目の前の踊りは全く別のもので、Basic しか
してないけど、デモンストレーションといってもいいくらいきれい
で感動した。Basic の難しさを知っている分、Basic を

完璧に身体にたたきこんでいる事の余裕や凄味さえ
感じた。やはり、やっぱり高度なパフォーマンスでも

Basic は動きからの派生にすぎず、Basic あってこそ
高度なパフォーマンスなのだとしみじみ思った。

逆を言うと、高度なパフォーマンスができるという事は、
Basic がしっかりしている事なのだと感じた。